

平成30年度

事業報告書



- 前 文
- ・ 法人 運 営
 - ・ 施設事業運営
 - ・ 地域との関連
 - ・ 会 計
 - ・ 添 付 書 類

社会福祉法人 正和会

平成30年度 事業報告書

社会福祉法人 正和会

★前文

小規模保育園の特性を活かしたきめ細かな保育と家庭的な雰囲気のある保育園という評価が定着し、ひめゆり保育園・てんじん保育園ともには地域でも大変に高い評価を得るようになってきている。

また、15年目を迎えたひめゆり保育園の子育てひろば事業「わくわくひめゆり」は口コミや市報・パンフレット等によって地域に良く知れ渡るようになって、多くの参加者数があった。

1. 法人運営

(1) 実施事業

この法人は多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身共に健やかに育成されるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行いました。

◆ 第二種社会福祉事業

- 1, 保育所 ひめゆり保育園の設置経営
住所 東京都小平市天神町2-6-1
定員等 0歳～2歳児 40名定員

- 2, 保育所 てんじん保育園の設置経営
住所 東京都小平市天神町2-1 1-2 6
定員等 0歳～5歳児 60名定員

(2) 理事会

平成30年度は5回の理事会を開催した。

- ・ 6月 9日 補正予算の承認、平成29年度事業報告及び決算報告、平成29年度会計監査結果の報告、評議員会の開催
- ・ 9月 15日 補正予算の承認、評議員の交替、予算・事業執行状況報告
- ・ 12月 15日 予算執行執行状況の報告、事業執行状況の報告
- ・ 2月 7日 特別指導検査の実施について、改善報告について
- ・ 3月 19日 平成30年度事業計画及び予算の承認、就業規則の変更
予算・事業の執行状況報告

2. 施設事業運営

(1) ひめゆり保育園

ア、児童在籍数

年齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	12	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	106
1歳児	13	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
2歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
合計	40	38	38	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	466

イ、健康管理

1. 健康診断

年間計画に沿って定期健康診断 24 回、および 1 回の新入園児健康診断を実施した。

基本的に第 2、4、5 月曜日が実施日となっている。

0 歳児の保護者には、ひと月に 1 回は受けていただくよう促し、実施日の少ない月は予めお伝えすることとしている。

2. 歯科検診

6 月と 12 月の 2 回の健診を実施した。

検診の結果 うさぎ組：0 歳児 あひる組：1 歳児 きりん組：2 歳児

クラス	在籍者数	健診実施数	むし歯のない者	虫歯の本数			口腔清掃状況			沈着物	歯肉炎	不正咬合	その他
				むし歯所有者	未処置むし歯	処置済むし歯	良い	普通	やや悪い				
うさぎ 6月	9	9	9	0	-	-	1	3	-	-	-		
12月	9	8	8	0	-	-	1	7	-	-	-		
あひる 6月	15	14	14	0	-	-	7	7	-	-	-	反対咬合 1	
12月	15	13	13	0	-	-	8	5	-	-	-		
きりん 6月	15	15	14	1	4	-	12	3	-	-	-		
12月	15	12	11	1	6	-	12	-	-	-	-		

- 0、1 歳児のむし歯保有者はいなかったが 2 歳児はむし歯のある児が 1 名いた。口腔清掃状況も「良い」、「普通」でした。今後も引き続き毎日の園での仕上げ磨きと家庭でのケアを継続して行い口腔内の清潔が保てるように努める。
- 0 歳児：仕上げ磨きの練習も 0 歳児では、最初、口を開けることを嫌がる児もいたが、一年を通して慣れ、終盤には全員嫌がることなくできた。
- 1 歳児：1 名、反対咬合の診断あったが経過観察となっているため今後の検診で様子みていく必要あり。12 月の検診時には改善しているとのこと。
- 2 歳児：むし歯の指摘は 6・12 月共に同じ児で 1 名みられたが、開口や反対咬合の指摘はなかった。

3. ぎょう虫卵検査

文部科学省「学校保健安全法施行規則の一部改正等について」の通知にならない、平成 27 年度より中止。以来、ほけんだよりにて、保護者によりセルフチェックを促している。

4. 腸内細菌検査

4月・10月の年2回全職員（パート、保育助手を含む）を対象に行った。

また、調理や調乳に携わる職員（0歳児担任、フリー保育士、調理室、主任、看護師）については毎月検査を行った。

結果は年間を通して全職員陰性であった。

5. 職員検診

9～11月の3ヶ月間で「立川北口健診館」にて、全常勤職員対象に行なった。

生活習慣病健診対象者 5名、法定健診対象者 13名であった。

今年度(H.30年)より全職員、血液検査と心電図の検査項目が追加となった。

以下職員検診の結果

身体測定

数名やせ気味、肥満の指摘があったが、急激なやせや肥満であったり、病的なものではないため、該当者に声をかけつつ様子観察としている。

血液検査

脂質代謝異常3名→内2名は6カ月後要経過観察、残り1名は要精密検査必要と診断される。また、診察にて貧血の疑もあり。

高血圧症1名→他院にて治療継続中。

胸部X-P→心拡大と診断あり、要経過観察の指示あり。

子宮頸がん検診について、計1名、要再検査の指示あり。再検査の結果は異常なし。定期的に(6か月ごとぐらいに)定期検査を行っていくこととなる。

その他、概ね健康状態は良好であった。

雇入れ時健診も上記1名以外は上記施設で実施、1名は他クリニックにて実施した。

6. ほけんだより

年間で16回の保健だよりを発行した。

7. 保健指導

4月：うさぎ組クラス懇談会にて「新入園児の健康管理について」資料を用いて説明した。

6月：歯科検診にて絵本の朗読実施した。「ぱくぱくたべたらはみがきだ！」と題して、虫歯予防・歯磨き指導を行った。

10月：きりん組クラス懇談会にて「卒園後の生活リズムについて」資料を用いて説明した。

12月：歯科検診にて、「はみがきまんとかんぱんまん」の紙芝居を朗読し、虫歯予防・歯磨き指導を行った。

8. ひめゆり広場事業での保健活動

ひめゆり広場事業は、「わくわくひめゆり」を1.5歳から就園前まで対象として、ひと月に1回ずつ実施した(3、4、8月は休み)。

尚、在園児に感染症が発生した場合、広場事業の実施について検討することとしており、今年度は、感染症の流行の拡大はなく、休みの月以外は実施出来た。

9. 内服薬と薬状況

【投薬に関する特記事項】

- ・ 熱性けいれんを起こした児が医師の指示と保護者の要望によりダイアアップ預かりとなり、発熱37.5℃以上で使用した。
- ・ 溶連菌感染症に罹患した児の薬を一定の期間預かりとなった。

投薬件数が、昨年の182件から2件と大幅に減少。預かり薬について、園内で検討した結果、平成29

年度より、医師の指示書のある薬に限りお預かりして投薬することとした。そのため、前年と比べて大幅に投薬件数の減少に至ったと考えられる。

10. 病気欠席状況

(1) 病気欠席延べ日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
うさぎ組	3	12	10	25	7	18	8	8	10	5	17	6	129
あひる組	17	46	12	20	10	11	15	11	13	22	46	17	240
きりん組	7	6	14	27	5	9	6	8	16	31	25	21	175

(2) 疾患別罹患人数

<総数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発熱	5	19	13	6	6	5	7	7	7	7	9	6
風邪(咳嗽、鼻汁)	5	9		1	1	1	8	1	8	5	13	9
下痢・嘔吐	3	4	2	1	1	2	3	1	5	3	1	2
中耳炎		2	1		3		2					
胃腸炎									3			
ヘルパンギーナ				2								
気管支炎		1										
喘息		1										
溶連菌				1					3			
アデノウイルス			1									
皮膚	1		1g	1f		1n1n 疑い			1a	1k	1 湿疹	1g
眼疾患	2				1	1			1			
インフルエンザ A										6	3	
その他		1k1e 1d	3b2c	1a1m	1b	1e2b1 a	2a1h	1o	2b1c 1o	1b1l	3b1p4 j1l	114j
合計	16	39	23	15	13	15	23	10	32	10	36	23

a) 手足口病 b) 突発性発疹 c) 胃腸炎 d) 脱水症状 e) 熱性けいれん f) 蕁麻疹 g) 伝染性膿痂疹 h) 耳漏 i) 伝染性軟属腫 j) RSウイルス感染症 k) ヒトメタニューモウイルス l) 紫斑病 m) 受傷 n) 伝染性紅斑 o) 肘内障 p) クループ症候群

<感染症など>

- ・RSウイルス感染症：2歳児で2月に多くみられた。
- ・伝染性紅斑：1歳児で9月に流行した。
- ・インフルエンザA：計9名の罹患患者。
- ・インフルエンザB：計0名の罹患患者。

感染症については診断が下りた時点で、園内に情報を掲示し、注意喚起を行った。

11. 怪我等への対応

擦り傷、切り傷、打撲、鼻出血等、軽症のものは日常的にあったが、それぞれ、洗浄、止血、ワセリン塗布、冷却等の対応を行った。

【受診件数】

きりん組 2件 (再診回) 1回(抜糸のため)

【受診内訳】

<きりん組>

眉間中央を切創	1 (縫合処置)	総合病院
左上肢肘内障	1	整形外科

きりん組：眉間中央を切創した児は、縫合し抜糸のため、再受診1回行う。

1 2. 食物アレルギー対応

2歳児女児1名。乳・卵アレルギーの診断。栄養士、担任と共にAL面談を実施、アレジオンDS0.4gをお預かりし、アレルゲンと接触があった際に、内服させることとなった。6/12よりパン解除となった。園でパン解除直後に顔面にアレルギー反応みられるが、その後は園ではアレルギー症状なし。2/18より乳・乳製品解除となった。

1歳児女児1名。ピーナツ、アーモンド、くるみアレルギーの診断。栄養士、担任と共にAL面談を実施、薬の処方なし。3/25に面談行い、緊急時の搬送先の病院が公立昭和病院へ変更となる。

0歳児、男児2名。

A君：乳のアレルギーの診断。栄養士、担任と共にAL面談を実施、薬の処方なし。

1/10に乳解除となった。

B君：卵アレルギーの診断。10月に再診し、結果により面談行う。10/26面談予定となり、ニポラジン小児細粒0.6% 0.2g、エピナスチン塩酸塩Ds小児用1%0.4gをお預かりし、アレルゲンと接触があった際に、内服させることとなった。3/28に面談実施し、園での対応は4月より卵の提供がなくなるためトレイ対応なくなる旨を説明。しかし、完全解除ではないため、今後もアレルギー薬は預かることとなる。

1 3. 巡回相談

保育の中で、発達等に気になる児がいた際、年に4回5、7、10、1月に、あおぞら福祉センターより専門家が派遣され、午前中該当児の様子を見ていただき、対応についてカンファレンスをおこなった。

5、7、10月は3歳児2名の指導をお願いした。対応や保育に取り入れていくと良いことなどアドバイスを受けた。2019年の1月はあひる組を対象とし、4名の児を対象に実施した。

ウ、栄養管理

栄養士が積極的に栄養指導を行うとともに、子どもたちの健康状態を把握しながらバランスの良い献立作成に取り組み、献立を元に給食を提供することが出来た。

献立には季節を感じられるよう、旬の食材を多く取り入れた。筍やそら豆などの食材の展示やとうもろこしの皮むき、オクラ、茄子の栽培、収穫等の体験を通じて、見て、触れて、味わう活動や、食材を媒体とした製作も行った。

食育の一環として、栄養素・食材の効能等をレシピ・おたより等を保護者対象に配布し、興味関心を持ってもらえるよう務めた。

離乳食

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ゴックン期	2	2	3	2	1	1	1	0	0	0	0	0
モグモグ期	1	2	1	2	2	2	1	1	1	1	0	0
カミカミ期	2	1	2	1	2	3	3	3	2	2	1	1
パクパク期	1	2	2	3	3	3	4	5	6	6	8	8

離乳食全般については、子どもひとりひとりの発達・喫食状況に合わせ、細かい対応を行った。期が上がる際には、保護者・担任・栄養士で離乳食面談を実施し、家庭・クラスと連携を図りながら、固さ・大きさ等調理形態に十分留意し、食事を提供することが出来た。

乳児食

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
普通食	36	36	37	36	36	36	36	36	35	35	36	36
特別食	2	2	2	3	3	3	3	3	4	4	3	3

アレルギーによる除去食の希望が4名、途中除去食解除もあったが、年間を通してトレーを使用する等、個別に対応を行った。

献立表に除去（または代替）内容を記載して保護者に配布し、同時に職員間でも情報の共有に努め、安全に食事提供を行った。

エ、保育内容

保育支援総合システム『はぐくむ保育』の活用により、年間指導計画→月間指導計画→日週案指導計画と連動した保育の実践が可能となるとともに、保育日誌・保健日誌・施設日誌・児童票・事故報告書等が連動する事で、保育事務の合理化・簡素化が可能となった。

カリキュラム会議は全職員が参加できるよう実施し、個々人の発達・成長を共有し共通理解の下に保育を行なうことが出来た。

オ、安全管理

園舎外壁について、塗装のはがれ等が出てきていたため、外壁の塗装の塗り直しを行った。また、固定遊具についても、外装のはがれやバネの耐用年数の問題から、塗装の直しやバネ交換などの対応を行った。

カ、職員の処遇

(1)健康管理

腸内細菌検査、健康診断、胸部レントゲン撮影など、すべて計画通りに実施し、全ての職員が立川北口健診館で定期検診を受診した。

(2)職員会議

各月職員会議を1回とカリキュラム会議を1回の合計24回の全体会議を実施した。ほかにクラス単位のミーティングを数回、カリキュラム打ち合わせ会を多数実施した。

(3)研修報告

別紙『研修会参加一覧表』にあるように東社協、東京民保協などの保育団体が主催する研修を中心に多数の研修会に参加した。

また、新たに採用された職員も順次『上級救命講習』と『おもちゃインストラクター』を受講し、資格取得に努めた。

(4)福利厚生

本年も福利厚生センターに加入して、個々の職員がセンターの事業を活用した。又、歓送迎会への補助などを行った。

(5)地域社会との関連

子育てひろば『わくわくひめゆり』の計画、実施した。小さい乳児を対象とした『よちよちひめゆり』については、参加者数の減少から今年度はお休みとした。

また園庭開放は43回実施し、天候不良のため中止とした日は3日あった

ア、保育実習生の受け入れ

今年度はひめゆり保育園において、保育養成校からの保育園実習生を計3名受け入れを行なった。

イ、中学・高校生の職場体験・職業体験の受け入れ

今年度はひめゆり保育園において、小平市立小平第六中学校の生徒4名、小平第三中学校の生徒3名、西東京市立田無第一中学校の生徒2名、保谷中学校の生徒4名、大泉桜高等学校の生徒1名、鷺宮高等学校の生徒1名を職場体験として受け入れた。

(2) てんじん保育園

ア、児童在籍数

年齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
1歳	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
2歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
3歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
4歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
5歳	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
合計	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720

イ、健康管理

1・健康診断

毎月第1月曜日を健診日とした。

乳児健診は毎月行った。休んでしまった場合は、ひめゆり保育園で健診を実施した。

1歳児は0歳児とともに毎月健診を行った。

いるか組…5月7月9月11月1月

くじら組…6月8月10月12月2月

全園児、年2回以上の健診を行うことができた。

2・歯科検診

6月・12月と2回実施した。

未処置むし歯のある児が6月は4歳児3名、5歳児1名で、その後治療は終了した。

12月は4歳児2名、5歳児2名いた。

3・視力測定

9月(5歳児)・11月(4歳児)・1月(3歳児)に測定を実施した。

4・腸内細菌検査

4月・10月の年2回全職員(パート、保育補助を含む)を対象に行った。

また、調理や調乳に携わる職員(0歳児担任、フリー、調理室、主任、看護師)については毎月検査を行った。

結果は年間を通して「陰性」であった。

5・職員健診

健康診断を10～11月に「立川北口健診館」「総合健診センターヘルチェック」にて行なった。

生活習慣病健診対象は8名。法定健診対象者(35歳以下)は11名。

がん検診なども受けられるように設定したことで、各職員が自分の健康に関心がもてたのではないかと
思う。

入職した職員については、雇入れ時の健診を行った。

6・保健だより

年間で14回の保健だよりを発行した。

7・保健指導

- 4月 爪・姿勢の話（くじら組）
- 6月 歯磨き指導（3歳児・くじら組）
- 7月 プールのお約束（いるか・くじら組）
- 9月 食べたものはどうなるの？排便の後始末（4歳児）
- 11月 うがい指導（いるか組） うがい・手洗い指導（くじら組）
- 12月 手洗い指導（いるか組） 歯磨き指導（4歳児）
- 1月 鼻のかみ方（3・4歳児）
- 2月 歯磨き指導（3歳児）
- 3月 うんちの話（3歳児） 就学にむけて（5歳児）

職員に対して

- 4月 保育中の突然死について
- 5月 アナフィラキシーの対応について
- 2月 安全は行動、園でのコミュニケーションについて

8・内服薬と薬状況

食物アレルギー対応での内服の預かり2件、エピペンの預かりが1件あった。

熱性けいれん発症予防対応でダイヤブ座薬の預かりが1件あった。

9・巡回相談

5月・7月・12月の計3回、あおぞら福祉センターより先生に来て頂き、気になる行動のある児の対応について話し合いを行い、アドバイスを頂いた。

10・感染症及び病欠欠席状況

0歳児(6人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
呼吸器症状（熱・風邪等）	4	2	4	7	4	1	1	2	2	1		2
腹部症状（下痢・嘔吐）	3	4		1		1			1			
耳症状（中耳炎）					1							
皮膚症状（蕁麻疹）						1		1			1	
アデノウイルス			3									
ヘルパンギーナ					2							
水痘						1						
突発性発疹						1						
手足口病								3				
インフルエンザA											2	

1歳児（10人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
呼吸器症状（熱・風邪等）	5	3	2	6	7	3	2	2	3	1	1	3
腹部症状（下痢・嘔吐）	1			2		2			1	1	2	
耳症状（中耳炎）					3			1				
皮膚症状（蕁麻疹）							1					
アデノウイルス			3									
ヘルパンギーナ					1							
手足口病								7			1	
溶連菌感染症									1			
インフルエンザ A										4	1	

2歳児（11人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
呼吸器症状（熱・風邪等）	7	7	3	3	6	2	1	5	4		3	1
腹部症状（下痢・嘔吐）									1			
耳症状（中耳炎）				1								
インフルエンザ A	1									4	1	
アデノウイルス		1										
ヘルパンギーナ				2								
伝染性紅斑					1	1						
伝染性膿痂疹					1							
手足口病								5				
溶連菌感染症									1	1	1	1
水痘									1			

3歳児（11人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
呼吸器症状（熱・風邪等）		1		2	2	4		2	4		3	
腹部症状（下痢・嘔吐）								1	1	2	1	
皮膚症状（蕁麻疹）							1	1				
インフルエンザ A	4									2	2	
溶連菌感染症				1					5		1	
伝染性紅斑				1		1						
ヘルパンギーナ					1							

手足口病									1				
伝染性膿痂疹													1
水痘													1

4 歳児 (11 人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
呼吸器症状 (熱・風邪等)	1	2	1	3	3	3	2	3	1	2	1	3
腹部症状 (下痢・嘔吐)									1		1	
皮膚症状 (蕁麻疹)		1										
インフルエンザ A	1									5		
伝染性紅斑			1	1								
帯状疱疹					1	1						
溶連菌感染症								4			1	
手足口病								3				
水痘									1			

5 歳児 (11 人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
呼吸器症状 (熱・風邪等)	1	2	1	4	6	1	1	2		1		
腹部症状 (下痢・嘔吐)		1					1		4			
耳症状 (中耳炎)					1	1						
インフルエンザ A	1									2		
伝染性紅斑				1								
伝染性膿痂疹							2					
溶連菌感染症									1			

<入院加療>

- ・1 歳児：5 月、肺炎で昭和病院に入院加療。

<怪我・通院>

- ・1 歳児：10 月、保育中に左肘内障となる。山之内整形外科を受診し、整復される。
- ・5 歳児：10 月、左手を保育室のロッカーにぶつける。山之内整形外科を受診し、左第 5 指基節骨骨折と診断される。その後 2 回の通院を経て完治する。
- ・5 歳児：12 月、公園でドッチボールをしていてボールをよけた時に首を痛める。山之内整形外科を受診しむちうち症疑いと診断される。

<感染症まとめ>

- ・11 月に手足口病の流行があった。水痘と間違えられるほどの発疹がでた児もいた。
- ・インフルエンザの予防接種は、全園児 60 名中 34 名、正規職員は全員実施していた。今年度は A 型の流行が 4 月と年明け 1 月中旬よりみられた。職員 3 名、パート職員 3 名、子どもは 30 名 (うち 1 名は 4 月、2 月と 2 回) が罹患した。

ウ、栄養管理

栄養士が積極的に栄養指導を行うとともに、離乳食についても細やかな対応ができた。離乳食については、段階ごとに面談を行い、子ども1人1人に合わせた細やかな栄養指導を行った。また、アレルギー児にも面談を行い、個別に対応している。

今年度入園された園児(0歳児)でアレルギーがあり、月齢的には後期食を提供するが、家庭で食べている食事の形態が中期食に加え、試したタンパク質や食材が少なく、新しい食材は家庭で試してから保育園でも提供してほしいとの要望があった。通常は弁当対応をお願いするが、家庭の事情により厳しいため、4月からはアレルゲンのない献立を提供し、園児の成長に合わせて面談を行いながら離乳食を進めた。

・喫食人数(離乳食など)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
離乳食(初期食)	1	1										
離乳食(中期食)	4	4	2	1								
離乳食(後期食)	1	1	3	4	1	1						
完了食	54	54	55	55	59	59	60	60	60	60	60	60

※離乳食面談は各期へ上がるごとに行い、保護者や保育士と話し合い、子供の状況に沿って進めた。

・食育について

以下の通りに行った。

	対象クラス	内容	ねらい
4月	くじら	竹の子皮むき	旬の食材を知る 食材の形状を知る
	くじら	味噌作り	豆の変化を知る 日本古来のスローフードを学ぶ ※出来あがた味噌は餅つきの豚汁で使用予定
5月	くじら	ご飯炊き (以後、混ぜご飯以外)	毎日食べるご飯の炊き方を学び、生活力につなげる 炊き立てのご飯の香りを感じ、出来立ての美味しさを知る
	めだか	そら豆に触れる	調理前の野菜の形と大きさを見て確かめる 野菜の感触や匂いを体験し、見慣れない野菜に親しみを持つ
	いるか	そら豆さや剥き	野菜の生え方を見える 他の豆と大きさや手触りを比べてみる
6月	いるか	ヤングコーンの 観察・試食	旬の食材を知る 食材の形状を知る
	くじら	配膳の仕方、はし指導	自分でご飯を準備できるようになる 箸を正しく持てるようになる
	全園児	じゃが芋洗い(行事)	食べ物の生え方を見る 掘ってきたじゃが芋を洗い、芋の表面の様子を知る
7月	くじら	調理体験(じゃが芋)	収穫から自分の口に入るまでの作業工程を体験し、食べ物を大切に扱う 心を育む 調理する事を楽しむ
	いるか	とうもろこし皮むき (日にちは別々で行う)	旬の食材を知る 食材の形状を知る
	めだか	とうもろこしに触れる	旬の食材を知る 食材の形状を知る
	いるか	スプーン指導	スプーンを正しく持てるようになる
8月	いるか	調理体験(おやつ)	説明を聞き、自分の作りたい顔を作れるように工夫する 自分でおやつを可愛く飾り、食べる喜びを知る
	くじら	講話(食べることの役割)	食べる事にはどんな意味があるのかを知る 食べ物によって入っている栄養が違うことを知る
	めだか	夏野菜に触れる	切る前の野菜の形と大きさ、切った断面を見て確かめる 野菜の感触や匂いを体験し、表面と断面の違いを知る 野菜により親しみを持つ

	いるか くじら	講話(防災食について)	防災食とは何か、普段の食事とはどのような違いがあるかを知る
	全園児 職員	防災食を食べる	普段の食事との違いを知る 実際に食べる事で、災害にあった時の食事の様子はどんな感じか経験する
9月			
10月	全園児	さつま芋洗い(行事)	食べ物の生え方を見る 掘ってきたさつま芋を洗い、芋の表面の様子を知る
	全園児	防災食を食べる	防災食の重要性や作り方を知る (いるかはデモ、くじらは個人で作った) 実際に食べてみて、災害時の食事を想像する
11月	くじら	調理保育(スイートポテト)	収穫から自分の口に入るまでの作業工程を体験し、食べ物を大切に扱う心を育む 調理する事を楽しむ
	いるか	出汁について (講話・試食)	出汁の役割を知る 昆布・鰹節について興味を持つ
	めだか	出汁について (昆布・鰹節に触れる)	出汁が出る食材に触ってみる 匂いや味を感じる
	くじら	出汁について(導入)	出汁が出る食材にはどんなものがあるか知る 11月に行う出汁の試食・試飲についての内容を知る
	くじら	出汁飲み比べ (豚汁の出汁を決める)	それぞれの出汁の味の違いに気づく 豚汁に合う出汁はどれか選ぶ
12月			
1月	くじら	観察(七草)	七草がゆに入っている七草を知り、食材の形状も知る (セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ)
	くじら	観察(給食時)	柚の香りを知る
	くじら	調理体験(おにぎり)	ご飯全体に具材を混ぜ込むようにする 自分の作りたいおにぎりを握る
2月	くじら	調理体験(納豆丼)	カップの中で粘りが出るまで、上手に混ぜる おやつを完成させる
3月			

・他にも、くじら組で野菜(枝豆、胡瓜、プチトマト)を栽培し、収穫した都度、くじら組にのみ提供

・行事食

保育園の行事や日本の伝統行事に合わせて、行事食を提供した。

4月:たけのこご飯

5月:子供の日

6月:小平夏野菜カレー、目の日(小平産ブルーベリー使用)

7月:七夕

9月:お彼岸(おはぎ)

11月:冬至(かぼちゃ)

12月:クリスマス

1月:お正月

2月:節分

3月:ひな祭り、お楽しみメニュー、お散歩給食、お彼岸(ぼたもち)

エ、保 育 内 容

保育支援総合システム『はぐくむ保育』の活用により、年間指導計画→月間指導計画→日週案指導計画と連動した保育の実践が可能となるとともに、保育日誌・保健日誌・施設日誌・児童票・事故報告書等が連動する事で、保育事務の合理化・簡素化が可能となった。

オ、安全管理

てんじん保育園の園庭の照明柱に園児が頭をぶつけてケガする事故があったので、防護ゴムを取り付けた。

キ、職員の処遇

(1)健康管理

腸内細菌検査、寄生虫検査、健康診断、胸部レントゲン撮影など、すべて計画通りに実施し、35歳以上は立川北口健診館において生活習慣病検診を受診、それ以外の職員も立川北口健診館で定期検診を受診した。

(2)職員会議

各月職員会議を1回とカリキュラム会議を1回の合計24回の全体会議を実施した。ほかにクラス単位のミーティングを数回、カリキュラム打ち合わせ会を多数実施した。

(3)研修報告

東社協、東京民保協などの保育団体が主催する研修を中心に多数の研修会に参加するとともに、キャリアアップ研修にも6名で述べ9回の住戸をし、保育技術と知識の向上を図った。

また、新たに採用された職員も順次『上級救命講習』を受講すると共に、新たに3名が『おもちゃインストラクター』の資格講習を受講し認定を得た。

(4)福利厚生

本年も福利厚生センターに加入して、個々の職員がセンターの事業を活用するとともに、立川市の立飛ビーチにおいてBBQ会を行って職員の親睦を深めた。また、歓送迎会への補助などを行った。

(5)地域社会との連携

本年も園長が小平市立第七小学校の「学校経営協議会委員」として学校経営に携わるとともに、保小連携のための方策について学校長と懇談した。

また、小平三中学校からの依頼で職業体験、小平六中学校からは保育体験として三年生3クラスの受入れを行い、中高生に保育の楽しさや面白さを体験してもらった。

3, 会 計

橋詰会計事務所による会計指導のもと、公正・透明な会計業務を心掛けた。
別紙決算書の通りである。

4, 添 付 書 類

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、